

編集 後記

平成15年度には看護系大学が100校を越えたこと、引き続き大学院を設置する傾向があることから、教育と同様に研究活動が活発に行われているためか、地域看護学領域に関する新規投稿論文は毎月ある。看護学は人々の生活の営みに関わる実践学である事から、対象の言葉、行動、現象さらに生活体験内容を分析し、そこから看護ケア方法や看護活動方法を評価し開発する研究が活発に行われている。つまり今回の論壇で論述されている質的研究手法を用いて研究する者が看護学領域では多なっている。今後は質的研究手法を用いた地域看護に関する投稿論文が多くなる事が予測される。

投稿者は一日も早く投稿した論文が雑誌に掲載されることを望んでいることから、毎年公衆衛生学会総会・学術集会時に開催される拡大編集委員会では、投稿されてから掲載されるまでの期間が話題になる。理由は著者と査読者との論文内容に関する論点の相違より、査読コメントに対して投稿論文への加筆修正が不十分であるために再査読を繰り返す事による方が多いように思う。編集委員としての役割は論文と査読コメントの調整役として、会員の論文投稿意欲と学会誌の質を保持することであると考えている。(小西美智子)

次号予告

原著

運動指導教室参加者の運動習慣、医療費などの変化に関する研究

国民健康保険加入者を中心に…宍戸由美子、他
 検診機関における消化器がん患者の病名告知後の心理的状況とその関連要因の検討

保健師、家族による心理的サポートとの関連に焦点をあてて……………福井小紀子、他
 福井県の子宮頸がん車集団検診の前期(1974～1983年)および後期(1984～1993年)の成績評価……………飯田和質、他

短報

地域住民における Body Mass Index と高血圧、糖尿病、高コレステロール血症発症に関する追跡調査……………山岸良臣、他

公衆衛生活動報告

結核化学予防の服薬状況に関する一検討

結核集団感染事例の調査結果から

……………久保田美穂、他

ホームヘルプサービス職の労働実態と問題点

札幌市における滞在型ヘルパーと巡回型ヘルパーの勤務形態別の比較……………藤原恭子、他
 健康日本21計画を支援する「地域・職域診断サービス」の開発……………須賀万智、他

資料

市民(成人・障害者・生徒)における歯科保健の現状と課題

「仙台市歯科保健実態調査」結果(第1報)……………塚田満男、他

北海道および海外からの畜犬を介するエキノコックス本州侵入の可能性……………土井陸雄、他

精神保健福祉法改正に伴う保健所の対応

県型保健所に対するアンケート調査……………高岡道雄、他

第25回全国地域保健師学術研究会のごあんない

メインテーマ「健康維新～きらめくいのち・未来につながる保健福祉戦略～」

■開催日■ 平成15年11月13日(木)、14日(金)

■会場■ 1日目: 山口市市民会館 2日目: ホテルニュータナカ、ホテルタナカ

■主催■ 山口県、山口市、(財)日本公衆衛生協会、(財)健康・体力づくり事業財団

■プログラム■

11月13日(木): 挨拶・祝辞/特別講演「きらめくいのち～輝いて生きる～」(講師: 映画監督・山田洋次氏)/シンポジウム「ITを活かした少子・高齢時代の保健活動」/情報交流会

11月14日(金): 研究発表/教育講演1「コミュニティ・アズ・パートナーモデル」/教育講演2「童謡詩人 金子みすゞのまなざし」/ワークショップ「地域・学校・職域連携」

■参加申込■ 平成15年9月19日(金)

■参加費■ 7,000円(事前申込、資料代を含む)

■演題申込■ 平成15年7月2日(水)～15日(火)

■原稿提出■ 平成15年7月31日(木) 必着

■連絡先■ 第25回全国地域保健師学術研究会実行委員会事務局

〒753-8501 山口県山口市滝町1-1 山口県健康福祉部健康増進課内

TEL.083-933-2947(直通) FAX.083-933-2969 E-mail @pref.yamaguchi.jp

■ホームページ■ URL <http://www.pref.yamaguchi.jp/gyosei/kenko/gakkai.htm>

日本予防医学リスクマネジメント学会 連続電子シンポジウム開催案内

日 時：2003年6月-12月の毎月20-21日

場 所：インターネットの特設会場

使用言語：日本語

詳細ホームページ：<http://www.jsrmpm.org/Seminer/e-conf2003.html>

主 催：日本予防医学リスクマネジメント学会 <http://www.jsrmpm.org/>

連絡先 日本予防医学リスクマネジメント学会事務局

E-mail：jsrmpm@office.umin.ac.jp Tell/Fax：03-3400-0131

国際予防医学リスクマネジメント連盟 SARS 電子シンポジウム開催案内

SARS 流行地帯である東アジア諸国からの参加者を交えて、SARS の予防対策、疫学、病因、診断と治療および薬理学を学術討論します。

日 時：2003年10月10-14日

場 所：インターネットの特設会場

主要参加国：中国、香港、シンガポール、マレーシア、タイ、日本、他。

使用言語：英語

参加費：学会員50米ドル、非学会員100米ドル

詳細は下記のホームページをご参照いただきます。

<http://plaza.umin.ac.jp/~jsrmpm/urmpm/E-Conf/SARS2003/>

主 催 国際予防医学リスクマネジメント学会 <http://plaza.umin.ac.jp/~jsrmpm/urmpm/>
アジア太平洋予防医学リスクマネジメント学会

日本予防医学リスクマネジメント学会 <http://www.jsrmpm.org/>

事務連絡先 日本予防医学リスクマネジメント学会事務局

E-mail：jsrmpm@office.umin.ac.jp Tell/Fax：03-3400-0131